

レモネード通信

第8号・2012.7.10 発行

「歯科医師を対象とした歯と全身の健康、栄養との関連に関する研究」ニュースレター

発行人 研究責任者 若井 建志 (名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学)

連絡先 名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学

TEL 052-744-2132, E-mail: wakai@med.nagoya-u.ac.jp

(「レモネード」とは本研究の英文名の略称 [LEMONADE] です。

本研究は 8020 推進財団の助成を得て実施しております。)

本研究のホームページができました : <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/yobo/lemonade/lemonade/>

喪失歯数と大腿骨近位部骨折の関係

— 研究結果を論文発表 —

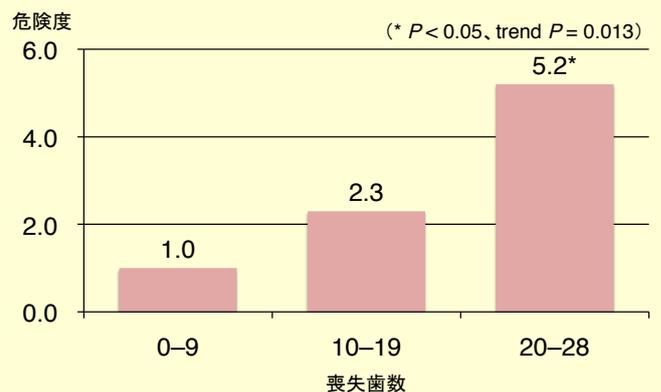
本研究において口腔と全身の健康の関連を検討する中で、喪失歯数が多いほど、大腿骨近位部骨折のリスクが高いことを見出しました。大腿骨近位部骨折(大腿骨頸部および転子部骨折)は高齢者に多く、適切な治療を行っても歩行障害などが残ることもしばしばあります。このたび、この研究結果をまとめた論文が、Community Dentistry and Oral Epidemiology 誌に採用され、近く出版の見込みとなりました(Wakai K et al. Tooth loss and risk of hip fracture: a prospective study of male Japanese dentists.)。

今回は大腿骨近位部骨折の発生頻度の男女差、年齢差を考慮し、50歳以上の男性の研究参加者9,992名を分析対象としました。2001~2006年に、喪失歯数を含む健康要因の調査票(「歯科医師健康白書」調査)にご回答いただき、その際にいただいた同意にもとづき、歯科医師会の共済制度などにより大腿骨近位部骨折発生の情報を収集しました。

その結果、平均6年の追跡期間中に、20例の大腿骨近位部骨折発生が同定されました。本骨折に関係する要因も考慮した発生危険度は、グラフのように喪失歯数(智歯を除く)0~9本の場合と比較すると、10~19本では2.3倍、20~28本では

5.2倍と上昇し、喪失歯数が多いほど高くなる傾向は統計学的に有意でした。理由はあくまでも推測ですが、歯の喪失が多いほど骨粗鬆症が進行している傾向があることに加え、歯の喪失が多い人では体力—とくに身体のバランスを取る能力や下肢の筋力—が低下していることが関係している可能性が考えられます。喪失歯数が大腿骨近位部骨折のリスク予測に役立つかもしれません。

喪失歯数(智歯除く)群別の大腿骨近位部骨折発生危険度(喪失歯数0~9本の場合の危険度を1とする)



「第17回 口腔保健シンポジウム」

で研究成果を紹介しました

昨年、世界口腔保健学術大会記念「第17回口腔保健シンポジウム」(主催:日本歯科医師会、後援:8020 推進財団他)の中で、本研究の成果を一般に紹介する機会をいただきました。シンポジウムは2011年7月9日(土)、大阪・テイジ

ンホールにて「なぜ、今、歯・口の健康に注目!? ～歯周病が及ぼす全身への影響～」と題して開催されました。

シンポジウムの基調講演「お口とカラダの不思議な関係 ～医科の立場から～」の中で、京都大学環境安全保健機構 健康科学センター長 川村孝教授（本研究で調査結果の分析を担当）が、うがいによる風邪予防の研究成果とともに、本研究の成果の一部を紹介いたしました。シンポジウムでは他に、講演「お口とカラダの不思議な関係 ～歯科の立場から～」（東京医科歯科大学歯周病学教授、和泉雄一先生）、ミニトーク「私が野球から学んだこと ～田尾流・健康ライフ～」（元楽天監督、田尾安志氏）、およびパネルディスカッション「なぜ、今、歯・口の健康に注目!? ～歯周病が及ぼす全身への影響～」が行われ、歯と全身の健康の関係をテーマに議論が交わされました。

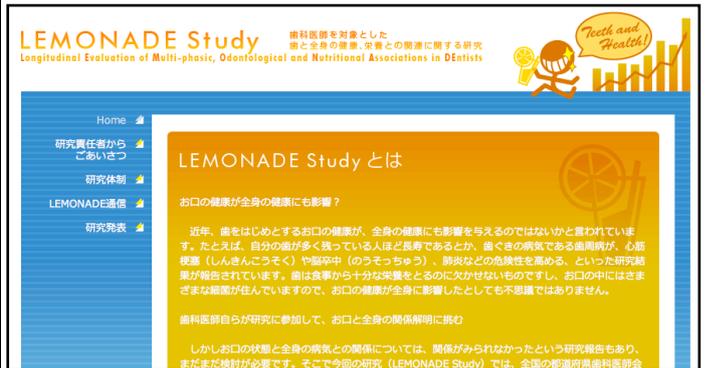
本シンポジウムの動画は、現在、日本歯科医師会のホームページから視聴できますので（アドレス <http://www.jda.or.jp/info/i56.html>）、御高覧いただけましたら幸いです。本研究の成果の紹介は、基調講演の動画の 20:20 頃からです。

本研究のホームページを公開しました

本年 1 月 24 日、本研究のホームページを正式に公開しました（アドレス <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/yobo/lemonade/lemonade/> または「LEMONADE Study」で検索）。デザインは Speaking Design 社によるもので、本研究の英文名略称「LEMONADE」にちなみ、飲み物のレモネードがモチーフに使用されています。

現在のところ、研究体制の紹介、過去のレモネード通信、研究発表一覧が中心の簡単なものですが、今後は内容をより充実させていきたいと存じます。多くの方にサイトをご訪問いただけましたら幸いです。また歯科医師会やクリニックのホー

ムページ等からリンクされます際には、リンク用のバナーもお送りできますので、おもて面の連絡先までご一報いただければと存じます。



レモネードをモチーフにした涼しげなデザインで、これからの季節にピッタリ!? (トップページより)

追跡調査の御礼とお願い

本研究では口腔の健康が全身の健康に及ぼす影響を調べるため、都道府県歯科医師会を通じて追跡調査を行っております。これは事務局に、歯科医師共済制度などで把握された研究参加者の死亡や疾病罹患状況のご報告を、個人同定可能な情報を削除した上でお願いするものです。

これまでに全国平均で約 7 年間の追跡調査が終了し、研究の成果を発表しつつあります。とくに昨年度は東日本大震災への対応などで大変ご多忙の所、引き続きご高配を賜りましたこと、あらためて御礼申し上げます。

しかし口腔の健康が全身の健康に及ぼす影響を検討するには、少なくとも 10 年程度の追跡が望ましいとされておりますので、今年度もこの 7 月より追跡調査を実施いたします（一部、年 2 回調査の場合があります）。ご担当の先生、事務局の皆様には大変お手数をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。なお、追跡調査は都道府県歯科医師会事務局において実施しておりますので、ご参加の先生に直接お問い合わせをすることはございません。